



関西VR/AR/MR企業カタログ

近畿経済産業局 産業部 サービス産業室



企業カタログHP



関西XRポータルサイト

関西VR/AR/MR企業カタログ

近畿経済産業局では、ビジネス・産業用途でVR/AR/MRを活用した取組を行っている企業を紹介するカタログを作成しています。

主に、VR/AR/MRコンテンツやシステムの開発・制作を行っている企業の具体的なソリューションやその特徴、活用事例について紹介しています。

本カタログには問合せ先を明記していますので、ご関心のある企業に対して直接お問い合わせください。

カタログへの掲載企業は随時追加していきますので、ビジネス用途でのVR/AR/MR活用を検討される際の参考にしてください。

※最新の情報は必ず当該企業にお問い合わせください。

★企業カタログについては、当局ホームページにも掲載しております。

★関西XRポータルサイトでは、自治体、支援機関による

XRに関する様々な情報を一元的に発信しています。

こちらも、ぜひご覧ください。



企業カタログHP



関西XRポータルサイト

掲載企業一覧

1. 株式会社イオグランツ「追客機能搭載のVRプレゼンテーションサービス」
2. 株式会社エスユーエス「VRでDXを加速する多人数体験システムの実現とハイクオリティなVRソリューションの提案」
3. 株式会社クロスリアリティ「XRの世界的リーダー企業と連携し設立した、世界基準のXR専門家育成スクールとXRソリューション開発」
4. NECソリューションイノベータ株式会社「ARを活用した業務支援により、現場作業者の作業効率や正確性向上を実現」
5. 協和テクノロジー株式会社「高度な安全技術の獲得のための訓練など、現実ではできないことをVRで実現」
6. Creative Office Haruka「高クオリティ・高解像度の実写による360度パノラマVRで、写真を超える表現を」
7. 株式会社栗本鐵工所「仮想現実存在感を与える感触創造マテリアルSoftMRF®」
8. 株式会社ココロワークス「VRでロールプレイング型研修がいつでも何度でも簡単に実施可能」
9. 株式会社写真化学「スマートフォンなどモバイル端末があれば、簡単に屋内のナビゲーションがARで可能に」
10. ソフトキューブ株式会社「大学や研究所向けのシミュレーション・教育訓練用VRコンテンツを開発」
11. 株式会社テクリコ「3DCGを活用した楽しいリハビリで、超高齢化社会が抱える問題解決に貢献」
12. 長谷川工業株式会社「ものづくり企業が提供するこだわりのARサービス」
13. パソナ・パナソニック ビジネスサービス株式会社「VRコンテンツを手軽に制作・公開・閲覧できるサービスを提供」
14. HappyLifeCreators株式会社「ビルやプラントの「現場作業」の効率化と働き方をAR活用により支援」
15. 株式会社ファイン「注文住宅の営業にVRを活用し、顧客への提案力や競争力向上を実現」
16. 有限会社藤川樹脂「3DCGによる試作シミュレーションにより、製造業の営業力強化に貢献」
17. 株式会社floorvr「工場見学や観光にVRを活用し、まるでその場にいるかのような臨場感のある体験が可能に」
18. ホログラム株式会社「ダンボールで作ったMRグラスとコンテンツを開発し、安価で気軽にMRを体験する機会を提供」
19. メガソフト株式会社「設計・デザインした3D空間がそのままVRコンテンツに。空間提案・検証用VRソリューション」
20. 株式会社メタバーズ「仮想空間専門企業が提供するソーシャルVRサービス」
21. 株式会社メディアクト「会社案内動画に手軽なVRを活用し、企業の新卒採用や就職後のミスマッチ防止に貢献」
22. 株式会社mediVR「VR等の映像技術を応用した医療機器「mediVRカグラ」で、“自分らしい”からだ暮らしを取り戻す」
23. monoAI technology株式会社「VR空間内で多人数でのコミュニケーション」

1.株式会社イオグランツ

【追客機能搭載のVRプレゼンテーションサービス】

株式会社イオグランツは、住宅業界向けプレゼン用3DCADソフトのカスタマイズ、販売等を行っている。同社が提供する住宅営業用ソフトウェア「EOPAN Cloud（イオパンクラウド）」は時間や場所を問わず施主に対し、施工前後のリアルなイメージをプレゼンできる。また、追客機能を搭載し、施主の提案プラン確認の有無や重点的に見ている部分等を解析することで、営業活動に活かすことも可能である。

◆ 担当者の勘に頼らない、ファクト重視のスピード感ある営業へ 営業担当・顧客を繋ぐコミュニケーションツール「EOPAN Cloud」

》》 VRでリアルなプレゼンが可能

クラウド上に保存された住宅等の施工画像や完成予想3DCGパース等を、手持ちのタブレット、スマホ上で360°パノラマ表示し、住宅メーカー、工務店の営業担当者が施主に対して、施工イメージをリアルにプレゼンすることができる。また、施主は、閲覧URLを通して自身のスマホ上で自由に手軽にプランを確認できる。

自社で開発したスマホを差し込む形式のVRゴーグル「EOPAN MULTIBOX」と提案データを合わせて提供すれば、施主はさらに臨場感のあるイメージ体感が可能。場所や時間を問わず、リアルな提案イメージのプレゼンができ、施主と営業担当者との間で、より柔軟かつ制度の高いコミュニケーションを行うことができる。

》》 最大の強みは追客機能

同サービスの最大の強みは、施主の閲覧ログを解析した結果を、営業担当者に自動送信する独自の追客機能である。これにより、今まで担当者の勘頼りだった住宅営業において、ファクトを基にした効果的な提案が可能になる。本機能により施主が提案プランを見ていないことに気付いた設計担当者が、施主から要望を聞き取り、すぐに設計にプランを見直した結果、数社競合の中受注につながった事例もある。

受注見込みの高い先への重点営業や、スピーディーかつデータに裏付けされた営業活動が施主から評価され、過度な値引きを防ぐことにもつながっている。

なお、同サービスはビジネスモデル特許を取得している。



VRで提案プランをプレゼンテーション

【企業概要】

企業名：株式会社イオグランツ

代表者：代表取締役 山中 健司

所在地：大阪府大阪市中央区久太郎町3-1-29 本町武田ビル9F

URL：<https://eog.co.jp/>
<https://eog.co.jp/service/eopan/>
(EOPAN Cloud)



企業URL



EOPAN Cloud
URL

2.株式会社エスユーエス

VRでDXを加速する多人数体験システムの実現とハイクオリティなVRソリューションの提案

VRといえば単独で仮想空間に没入するシステムが多い中、株式会社エスユーエスは、複数名のユーザーが同じ仮想空間を共有し、お互いの動きを把握し、同じ感動・同じ体験を共有できる本格的VRプラットフォーム「MVR(Multirole Virtual Reality)」を自社開発。そのほか、手軽にメタバースでコミュニケーションがとれるVカンファレンス360、360° VRツアー／360° VR動画など、用途に応じた幅広い提案を可能としている。

◆ 用途に合わせた幅広いVRソリューション

▶▶▶ 多人数の空間を共有する「MVR」は、圧倒的な没入感で、新たなユーザーエクスペリエンス（ユーザー体験）を創造

MVRはユーザーが自分の意思で移動するウォークスルー型VR。複数のプレイヤーが空間を共有し、コミュニケーションをとりながら仮想空間を体験するインタラクティブなコンテンツはアミューズメントやビジネスシーンで多くの実績がある。ライド型VRで見られる「VR酔い」が軽減され、コンテンツへの没入感が格段にアップ。ビジネスシーンでは、仮想空間上での業務体験や教育訓練で利用されている。また新築マンションのVRモデルルームとしても採用され、実際のモデルルームを建築するより3分の1程度の費用で済み、景色の変更（昼夜）や部屋パターンの変更ができるなどリアルでは不可能な体験ができると、今後の不動産販売におけるDXとして期待されている。

▶▶▶ メタバース空間でのオンラインコミュニティ「Vカンファレンス360」

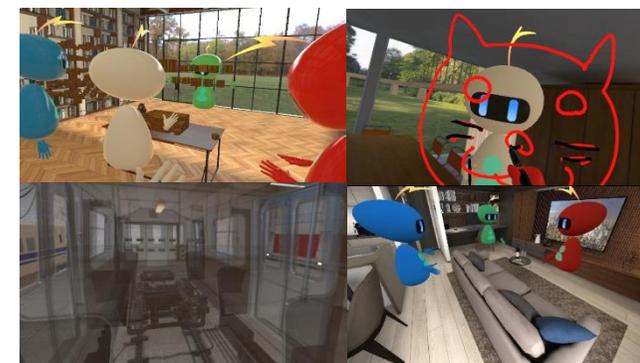
「Vカンファレンス360」は、バーチャル空間内に自分がアバターとして入り、展示物や資料の閲覧・動画の視聴・アバター同士の音声会話など、自由に相互コミュニケーションをすることができる。オンラインミーティングでは体験できない臨場感のあるイベントも可能。顧客要望に合わせた空間のカスタマイズにも対応しており、今話題のメタバースの世界を手軽に体験できるツールとして問い合わせも多い。

▶▶▶ 体験者の記憶定着率は3.5倍（通常動画比） 「360° VRツアー」 & 「360° VR動画」

360° VRツアー／360° VR動画は、ユーザーの意思で全周を見渡すことができるため、臨場感あふれる施設紹介ができるツール。通常動画の6倍の情報量により、実際に現地を訪れたような体験ができるため、体験者の記憶定着率は通常動画に比べ3.5倍と言われている。エスユーエスでは企画段階からのコンサルティングと、撮影・制作・納品までを2週間で対応することが可能。工場見学や企業紹介、大学のオープンキャンパスなどで多くの実績がある。



アミューズメントコンテンツ制作実績と体験イメージ



ビジネスシーンでのVR活用コンテンツ

【企業概要】

企業名：株式会社エスユーエス

代表者：代表取締役社長 齋藤 公男

所在地：京都府京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビルディング5階

URL：<https://www.sus-g.co.jp/>

問合せ先ページ：<https://www.sus-g.co.jp/contact/>

実績紹介ページ：<https://next2next.info/> ⇒⇒⇒⇒⇒



3.株式会社クロスリアリティ

XRの世界的リーダー企業と連携し設立した、世界基準のXR専門家育成スクールとXRソリューション開発

東映京都撮影所内に設立した、VRイノベーションアカデミー京都で「AR/VR専門家育成プログラム」を開講し、XR人材育成を行うほか、技術力、開発力を活かし、AR/MR/VR/メタバースなど、XRの幅広い分野の自社商品開発・受託開発、産学公連携での共同研究開発などのソリューション事業も行う。

◆ 世界的なAR/VR企業、自治体、親会社エスユーエスとの連携により設立

京都府のクロスメディアパーク構想の一環として、京都府のバックアップのもと、XR分野の世界的リーダーである米国企業と技術提携し、VRIA京都を東映京都撮影所内に設立。教育機関や企業のDX、リスクリング、人手不足や次世代育成への貢献をビジョンに掲げたアカデミー事業のみならず、技術力・開発力を活かしたソリューション事業も行う。同施設のショールームでは様々なXRデバイス、ソリューションを体験することも可能。

▶▶ AR/VR専門家育成プログラムは京都現地または全国どこからでもリモート受講可能

XR分野で20年以上の研究開発を行う米国の技術パートナーが世界28ヵ所でXR専門家・起業家を育成してきた、世界基準のカリキュラムをベースに改善、アップデートした「AR/VR専門家育成プログラム」を提供。AR/VR開発プロセスの全分野を網羅し、全産業分野向けだが、エンジニア派遣事業を行う親会社エスユーエスとも連携し、最先端XR開発技術の即戦力が短期間で身につく内容としている。企業から、組織のDX化や開発の内製化、人材育成支援の要望もあり、受講しやすい短期コースも提供中。

▶▶ AR/MR/VR/メタバースの自社商品開発や受託開発、産学公連携での共同研究開発を行う

産学公連携でバーチャルオープンキャンパスを共同研究開発したことをきっかけに商品化したメタバース空間「VR Meet」や、スマホやMRグラスを用い、作業手順を表示する業務支援アプリ「ARiser」などの自社商品開発のほか、技術力、開発力を活かし、最先端技術や最新端末を用いて受託開発した、歴史上の史実を現地で体験できるMRアプリ（文化庁Living History促進事業）などの実績を有する。



東映京都撮影所内のVRIA京都での授業風景



AR/VRトレーニングをノーコードで作成できるツールを使用したVRIA京都のショールーム紹介の一面



MRグラスで歴史体験するアプリ



メタバース空間「VR Meet」

【企業概要】

企業名：株式会社クロスリアリティ
代表者：代表取締役社長 齋藤 公男
所在地：京都市右京区太秦西蜂岡町9番地 東映京都撮影所内 VRIA京都

URL：ソリューション事業 <https://www.crossreality.co.jp/>
アカデミー事業 <https://academy.crossreality.co.jp/>
問合せ先ページ：<https://www.crossreality.co.jp/contact/>
<https://academy.crossreality.co.jp/contact/>



企業URL



アカデミーURL

4.NECソリューションイノベータ株式会社

【ARを活用した業務支援により、現場作業者の作業効率や正確性向上を実現】

NECソリューションイノベータ株式会社は、スマートグラスやARを活用して、現場作業者のハンズフリーでのコミュニケーションを実現できるソリューションを提供している。製造・建設現場や保守点検作業の支援や、物流業の倉庫のピッキング作業の支援などの場面で、支援者や熟練者が現場に赴かなくても、現場作業者の作業効率や正確性を向上することができる。

◆ AR遠隔業務支援システム

▶▶▶ 現場作業者は両手が空いた状態で、指示を受けながら作業できるように

作業者はスマートグラスの電源を入れ、アプリケーションを起動すれば、その後の操作は、全て遠隔の支援者が行うことができるように工夫されているため、両手を自由に使って現場作業を行うことができる。さらに、インターネットに接続できれば利用場所は問わないため、日本国内のみならず、海外の現場との映像や音声の共有も行うことができる。

▶▶▶ 支援者はリモートで複数の現場作業者の状況をリアルタイムで把握可能

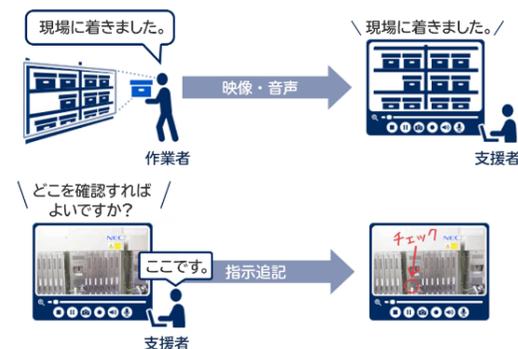
作業者が見ている現場の映像は、支援者のパソコンへ送信できるため、支援者はリモートで現場の状況をリアルタイムで把握でき、同時に複数の作業端末の映像を見ることがもできる。さらには、作業員から送られる映像を録画し、動画ファイルに出力も可能で、現場作業の確証の保存や、熟練作業員の視点のノウハウとして保存し、研修教材として使用することもできる。

▶▶▶ 遠隔地での業務をサポートし、現場作業者の作業効率や正確性を向上

物流現場ではピッキング作業員が、倉庫内を回り様々な箇所から商品や製品をピッキングするが、作業員は遠隔地にいる支援者や熟練者のサポートを受けてピッキングを行うことができる。そのため、新人作業員や、パート、アルバイトのピッキングミスを防止することができ、現場での作業効率を向上させることができる。また、支援者はリモートで確認できるため、現地に直接確認・指導しに行く時間やコストを削減できるようになった。



スマートグラスを活用した遠隔業務支援



遠隔での効率的な作業支援を実現

【企業概要】

企業名：NECソリューションイノベータ株式会社

代表者：代表取締役 執行役員社長 杉山 清

所在地：【本社】東京都江東区新木場1-18-7

【関西支社】大阪府大阪市中央区城見1-4-24（NEC関西ビル）

URL：https://www.nec-solutioninnovators.co.jp/

TEL：【本社】03-5534-2222(代表)

問合せ先：下記URLのページにある「お問い合わせ」をクリックください

https://www.nec-solutioninnovators.co.jp/ss/arvr/products/ar/

5.協和テクノロジーズ株式会社

【高度な安全技術の獲得のための訓練など、現実ではできないことをVRで実現】

協和テクノロジーズ株式会社は、鉄道や電力などのインフラ関係の顧客が多いことから、現場で必要となる安全意識向上のためのVRソリューションを開発・提供している。同社は、通信やIT分野のソリューションも手掛けているため、安全教育やプロジェクト管理、業務プロセス分析など、VR/AR/MRを含めた様々なツールを組み合わせ、顧客の業務全体の改善につながる提案を行うことができる。

◆ 現場の安全意識向上や業務改善につながるVRソリューション

▶▶▶ VR/AR/MR、通信、ITソリューションを組み合わせた業務全体の改善提案が可能

安全教育のニーズに対応するだけでなく、プロジェクト管理や業務プロセス分析、遠隔作業指示など現場の安全意識向上から業務改善につながるソリューションを開発・提供している。顧客のニーズを踏まえ、VR/AR/MRや通信、ITソリューションの中から最適なツールを組み合わせることにより、業務全体の課題解決策を提案できることが最大の強み。

▶▶▶ 自社の現場で実際に導入し、効果検証したコンテンツを顧客に提供

例えば、安全教育コンテンツについては、自社内で課題となっている場面について自社向けに制作し評価・検証した上で、教育効果の高いものを顧客に提案している。また、自社内での効果検証で明らかとなった作業手順で誤りそうな箇所や危険箇所について、視線によってマークすることで、普段の作業で見落としがちな箇所の可視化を行い、従業員の作業レベルの標準化や現場の安全意識向上に活用している。

▶▶▶ 遠隔作業指示やシミュレーションにより、現場の安全意識向上や業務改善につながる

現場の映像や音声が入った遠隔地にいるオペレーターや熟練者に送られ、リアルタイムに遠隔指示を受けながら、現場作業者がハンズフリーで作業することができる。現場で発生する突発的な事象にも柔軟に対応できるため、作業時間の短縮を図ることができる。さらに、防災意識向上に対するニーズも高まっており、VRを活用して火事や水害などをリアルに体感できるシミュレーションコンテンツなども制作している。



作業手順の過ちや危険箇所を視線によってマーキング



作業ミスで発生する事故をリアルに体験



遠隔から指示を受けてハンズフリーで作業可能

【企業概要】

企業名：協和テクノロジーズ株式会社
代表者：代表取締役兼CEO 十河 元太郎
所在地：大阪府大阪市北区中崎1-2-23 協和本社ビル

URL：https://www.kyotec.co.jp/
TEL：06-6363-8822
問合せ先：デジタルビジネスデザイン事業部 担当/北村（TELは同上）

6.Creative Office Haruka

高クオリティ・高解像度の実写による360度パノラマVRで、写真を超える表現を

Creative Office Harukaは、一眼レフカメラによるスチール撮影の技術をVRに転用した高いクオリティと、5億ピクセルという高解像度による再現性、機能性の高いVRコンテンツでブランディングの向上を実現。

◆ 高クオリティ・高解像度のVRコンテンツを提供

代表の鈴木遥華氏はもともとプロのカメラマン。一眼レフカメラを使い、プロの技術を用いて撮影するVR写真は、他を圧倒的するほどに鮮明である。また、プロが撮影することから、逆光で明るすぎる場所や極端に暗い場所など、普通では撮影に適さないシビアな環境でも、極めて自然な仕上がりのVR写真を提供している。

さらに、解像度は5億ピクセルと非常に高く、より細かなところまで見て感じることができる。ただ、高解像度になるとデータ量が多くなってしまうため、見ているモニターや見ている角度に合わせてデータを送るシステムを組み込み、ストレスなく閲覧ができるようにしている。あわせて、VR動画の撮影と編集や、ヘッドマウントディスプレイを利用したコンテンツ制作など、さまざまなVRコンテンツの企画・撮影・編集までをワンストップで制作している。

◆ VRの力で「伝える」から「感じる」コミュニケーションを実現

VR写真では、扉の開け締めなど、アクション要素が導入できないと思われがちだが、Creative Office Harukaでは、アクション要素のあるVR写真のコンテンツを実現し、閲覧者が自由に操作できるゲーミング性のあるVRコンテンツを提供している。また、動画や写真、ウェブページのポップアップ機能など、基本的な追加機能をはじめ、様々な機能を追加できることから、フォーマットに当てはめるだけではない、かゆいところに手が届くオーダーメイドのVRコンテンツが用意できるとして、様々な業種で採用されている。

◆ VRが営業担当の商談ツールとして活用の幅を広げる

VRコンテンツは、エンターテインメント分野でしか使われないと思われがちだが、工場や生産現場などのコンテンツは、その空間をイメージしやすくなることとあわせて、VRコンテンツ内に営業資料を集約することで顧客へのプレゼンテーション資料を一元化、営業担当者の業務効率向上にも貢献している。



一眼レフによる撮影



撮影・制作の事例

【企業概要】

企業名：Creative Office Haruka
代表者：鈴木遥華
所在地：大阪市中央区北浜東5-4-404

URL：<https://360-panorama.jp/>
問合せ：info@360-panorama.jp

7.株式会社栗本鐵工所

「仮想現実存在感を与える感触創造マテリアルSoftMRF®」

株式会社栗本鐵工所では、産業機器やエンターテインメントなど幅広い分野で感触を人に伝える製品の開発を進めている。SoftMRF®は、感触を自在に制御できる機能性マテリアルであり、デバイスに用いることで小型で高出力、比較的簡易な制御システムで様々な感触を表現することが可能である。特に小型化が進むXR(VR,AR,MR)の用途で臨場感を増幅させることができる技術として期待されており、視覚、聴覚に続く第3の感覚提示技術として「触覚: ハプティクス」分野の価値の創造に取り組んでいる。

◆ SoftMRF®がもたらす感触提示技術

» 新たな感触体験を生むSoftMRF®

SoftMRF®は同社独自のナノ粒子を配合した磁気粘性流体である。ナノ粒子を使用することで、長期安定性を有し、安定したトルクを発現することが可能である。そのため、SoftMRF®を用いたデバイス、ユニット（以下、MRFhaptics®）は、無段階に出力を制御できることから、従来の振動技術による感触表現とは異なり、より滑らかなで定量的な感触表現を行うことができる。

» デジタルコンテンツに感触を付与するMRFhaptics®

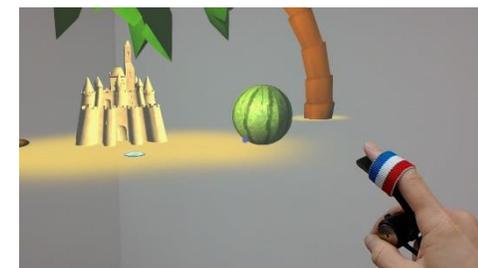
MRFhaptics®は電流値を制御することで、様々な感触を表現することができるデバイスである。特に物の硬さを表現する力覚提示技術としての活用が多く、仮想現実の空間の中で物質に触れる体験を可能にした事例は先進的なデジタルコンテンツとして様々な分野から注目をされている。アミューズメント分野では既にMRFhaptics®がeスポーツに採用されるなど実績は増えている。

» XR(VR,AR,MR)への展開

SoftMRF®の感触提示技術は応答性の速さや制御の自由度の高さから遠隔医療をはじめとする遠隔操作の作業精度向上やメタバースで注目される仮想現実の臨場感向上に対する応用が期待されている。今後はSoftMRF®による、バーチャル空間と現実空間を共有させるシステムを用いた経済発展と社会的課題の解決の両立を目指している。



MRFhaptics®を搭載したTapユニット



仮想現実と触覚のコラボレーション事例
(コンテンツ制作：南国アールスタジオ株式会社)

【企業概要】

企業名：株式会社栗本鐵工所
代表者：代表取締役社長 菊本 一高
所在地：〒550-8580 大阪市西区北堀江1丁目12番19号

SoftMRF®紹介ページ：<https://www01.kurimoto.co.jp/softmrf/>
問合せ先ページ：<https://www01.kurimoto.co.jp/softmrf/contact.html>



SoftMRF®



問合せ

8.株式会社ココロワークス

【VRでロールプレイング型研修がいつでも何度でも簡単に実施可能】

株式会社ココロワークスは、不祥事発生時の記者会見対応など危機管理意識の向上を目的としたロールプレイング型研修のVRコンテンツを開発している。ヘッドマウントディスプレイを装着すれば、時間や場所の制約なく、現実に近いシチュエーションでプロの役者が演じるリアリティのある研修を何度も受講することができる。シナリオに沿ってVR上で体験することで、研修効果も高くなっている。

◆ ロールプレイングによるVR研修「バーチャル・センセイ」

▶▶▶ 危機管理トレーニングに活用するVRコンテンツを低価格で提供

NPO業界において様々なリスク事案が発生していることから、NPO法人からの依頼により、危機管理コンサルタント監修のもと、不祥事発生時の記者会見の対応訓練など危機管理対策のためのVRコンテンツを制作している。

▶▶▶ ロールプレイング型研修により実際に起こりうるシチュエーションを疑似体験

リスク事案に関するシナリオでのロールプレイング型の研修プログラムをVRで経験することができ、現実で対応しなければならないシチュエーションを疑似体験をしながら、場所を問わず、いつでも繰り返し学習することができる。

▶▶▶ 没入感の高さにより、一斉受講研修に比べて映像に集中しやすい

VRを活用することで、ヘッドマウントディスプレイ装着者の目の前に映像コンテンツが表示される。VRの大きな特徴である没入感の高さにより、研修受講者は大型スクリーンで見る研修よりも目の前の映像に集中しやすくなる。

▶▶▶ ロールプレイングの役者や会場を確保する手間を省略できる

シナリオのあるロールプレイング研修を効果的に実施するには役者に依頼して演じてもらう必要があり、何度も繰り返し実施するにはコストがかかってしまう。シナリオをVR映像化することにより、コストを気にせず何度も学習できるため、研修効果を高められる。



記者会見対応の危機管理トレーニングコンテンツ



シナリオを工夫しリアリティのある現場の様子を再現

【企業概要】

企業名：株式会社ココロワークス

代表者：代表取締役 小松 英司

所在地：大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪ナレッジキャピタル8階

URL： <https://cocoloworks.com/>

TEL：06-6359-4800

問合せ先：VR事業 山中 (E-mail： info@cocoloworks.com)

9.株式会社写真化学

【スマートフォンなどモバイル端末があれば、簡単に屋内のナビゲーションがARで可能に】

株式会社写真化学は、創業150年を超える老舗の印刷会社である。約20年前から地図コンテンツを取り扱う事業を始めたことがきっかけとなり、グループ会社のノウハウを活用して、GPS不要でスマートフォンの画面上に矢印で案内する屋内のARナビゲーションシステムを開発した。道案内や自位置測定に強みを持つ同社だからこそ、位置情報とARを活用したサービスを展開している。

◆ 屋内ARナビゲーション「NAVIMICHAEL（ナビマイケル）」

》スマートフォンがあれば、簡単にARを活用した道案内を実現

ARを活用して、スマートフォンの画面上にカメラ映像に重ねて案内ルートを表示するGPS不要のナビゲートシステムである。案内は矢印をたどるだけで、言語表示は最小限に抑えているため、外国人旅行客でも直感的に利用することができる。

》大規模な設備投資を行うことなく導入可能

施設平面図をもとに案内ルートを設定するだけなので、ビーコン設置などの工事やメンテナンスは不要で、既存施設への導入もスムーズに行うことができる。さらに、店舗の広告やクーポン、施設の案内を表示させるなど、様々なカスタマイズも可能で、道案内に加えてマーケティングにも活用できる。



モバイルのカメラ映像に矢印を重ねて道案内を行う

◆ モバイル屋内動態測位「Locavena（ロケベーナ）」

》簡単に屋内の動態測位データを収集でき、業務効率化にもつながる

スマートフォンにアプリをインストールするだけで、屋内の動態測位が可能になるソリューション。モバイル端末搭載のカメラ画像や各種センサーのみを使うため、GPSやビーコンの設置工事が不要で初期投資のコストを大幅に削減することができる。フレキシブルな測位データの生成が可能で、工場内のフォークリフトの動態管理や、従業員配置の最適化、商業施設内のカート管理などに活用することができる。



工場や施設の動態測位データを収集

【企業概要】

企業名：株式会社写真化学

代表者：代表取締役社長 西村 仁志

所在地：京都府京都市中京区烏丸通二条下ル秋野々町518 前田エスエヌビル4階

URL：https://www.shashin-kagaku.co.jp/

TEL：075-254-7724

問合せ先：ジオサイエンス事業部（TEL：03-5362-3270）

10.ソフトキューブ株式会社

【大学や研究所向けのシミュレーション・教育訓練用VRコンテンツを開発】

ソフトキューブ株式会社は、VRと3次元CADソフト開発を行っており、顧客にどう見せるかということを考えてVR事業に1990年代から取り組んでいる。CAD・VR・ARともに開発できる人材が多数在籍することが強みであり、大学や研究所向けのシミュレーションや教育訓練用コンテンツを多数開発している。また、医療向けコンテンツについては、医療機関と連携し学会発表なども積極的に行っている。

◆ 整形外科手術の術前計画シミュレーション「3D Template ATHENA」

》 手術前に骨と人工関節の位置をシミュレーションできる3Dプランニングソフト

整形外科の手術の一つである人工関節置換術（人工股関節置換術・人工膝関節置換術）では、人工関節の適切なサイズや設置位置を術前に決定することが非常に重要である。CTデータを元に3次元空間で骨と人工関節の位置をシミュレーションし、位置関係を詳細に確認することができるアプリケーションソフトを医療関係者と連携して開発した。

》 シミュレーション結果を手術に活用することで、短時間で適切な処置が可能に

三次元空間の任意の角度から骨やインプラントを観察したり、CTの任意の二次元断面上にインプラントを重ねて表示したり、様々な表示方法でより綿密に骨とインプラントの位置関係を確認することができる。さらに、長さや角度を計測する機能を用いて骨切り量やインプラントと機能軸の角度を測り術中にそれらに値を使用することで短時間で適切な位置にインプラントを配置することが可能となる。

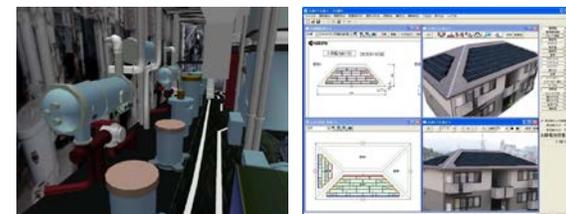


CTデータを元に骨と人工関節の位置をシミュレーション

◆ VRを活用した様々なシミュレーション・トレーニングコンテンツ

》 大学や研究所向けのコンテンツを開発

建物へのソーラーパネル設置イメージを3D表示し、設置費用や発電量をシミュレーションするシステムや、発電所などの施設点検用の教育訓練システム、放射線用VR教育訓練システムなど、大学や研究所向けにVR/AR/MRを活用したシミュレーション及びトレーニングコンテンツを開発・提供している。



大学や研究所向けの教育訓練コンテンツを多数開発

【企業概要】

企業名：ソフトキューブ株式会社
代表者：代表取締役社長 北村 雄吾
所在地：大阪府守口市京阪本通2-3-5 リバティビル守口

URL： <https://www.softcube.co.jp/>
TEL：（大阪本社）06-6991-6881 （横浜オフィス）045-264-9290
問合せ先：ソリューション本部 営業部 藤井、中川、早川（TELは同上）
mail： sales_fujii@softcube.co.jp（藤井）

11.株式会社テクリコ

【3DCGを活用した楽しいリハビリで、超高齢化社会が抱える問題解決に貢献】

株式会社テクリコは、MR（複合現実）技術を活用した認知課題によるリハビリテーション治療システムを関西医科大学と共同研究している。現実世界でGoogle越しにCGのトレーニングメニューが投影されることにより、日常生活に近い三次元空間でリハビリを行うことができ、高いリハビリ効果が期待できる。現在はトレーニングアプリとして「リハまる」を医療現場等に提供している。

◆ リハビリトレーニングアプリ「リハまる」

》 日常生活に近い三次元空間でのリハビリが可能

現実世界でGoogle越しにCGのトレーニングメニューが投影されるため、リハビリ患者にとっては、日常生活での動きに近いリハビリを行うことができる。また、従来の紙と鉛筆だけでは難しいデュアルタスクのメニューを行えるようになり、より実践的なリハビリが可能に。

》 ゲームの要素を取り入れることで、リハビリを楽しく続けられる

これまで同社がゲーム制作で培ってきたノウハウを活かし、同じリハビリ内容でも飽きさせないよう、数字が表示される順番や位置、画面に表示されるアクションを変えるなど、医療現場のニーズを踏まえ、楽しくトレーニングを続けられるような仕掛けを考えている。

》 リハビリ結果は自動記録・採点され、改善状況も分かりやすい

MRデバイスにはセンサやカメラが付いているため、患者の視線や行動履歴の自動記録・採点が可能。日々のリハビリ記録をデータとして管理できるため、改善状況を分かりやすく患者と共有でき、患者も頑張ろうというモチベーションが高まりやすくなった。

》 リハビリ従事者の業務効率化にも効果的

自動記録されるため、リハビリ実施中はスタッフが別の業務に従事することが可能になり、手作業で実施していたものが自動化され、スタッフが行う作業の大幅な時短を実現。さらに、その場に居ない医師ともリハビリの進捗や結果を共有できるようになった。



Google型デバイスでのリハビリの様子



リハビリの履歴をデータで見える化

【企業概要】

企業名：株式会社テクリコ
代表者：代表取締役 杉山 崇
所在地：大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル23階

URL：http://rehamaru.jp
TEL：06-6343-8450
問合せ先：リハまる事業部（E-mail：info@rehamaru.jp、TELは同上）

12.長谷川工業株式会社

【ものづくり企業が提供するこだわりのARサービス】

長谷川工業株式会社は、はしご、脚立、高所作業台など足場関連製品の製造販売を行っている企業。社内の営業支援ツールとしてARで製品を可視化できるシステムを開発。さらにそのノウハウを活かし、様々なものづくり企業のAR制作をサポートする新サービスとして展開。コンテンツの質の高さと手軽さを強みにものづくり企業の営業活動をサポートしている。

◆ その場に製品があるように手軽に見せられるサービス 「ハセガワAR」「メーカーパーク」

▶▶▶ ARで現物を再現し自社の営業コスト削減や新規顧客開拓を可能に

同社の営業担当者は、設置スペース確認のため脚立等の大型製品を営業先に何度も持ち込む必要がよくあり、営業効率向上が課題となっていた。そこでAR技術を活用し、スマートフォン、タブレットのカメラで映し出した場所に、製品を立体的に表示できるサービス「ハセガワAR」を開発。顧客はECサイトやカタログからスマートフォン等でアクセスし、時間や場所を問わず製品の雰囲気や設置イメージをリアルに確認可能であり、営業コスト削減はもちろん、試し置きが難しい遠方の営業先へのアプローチも可能にするサービスを実現した。

▶▶▶ コンテンツのクオリティと手軽さを追求したサービス

デザイン・機能性を兼ね備えた自社の製品の魅力を顧客に最大限伝えるため、サイズの再現率は99.9%を誇り、光沢等もリアルに再現することができるARコンテンツの質の高さが強みである。また、WebARで提供しているため、アプリ不要でブラウザ上から利用できる手軽さも魅力の一つである。

▶▶▶ AR制作のノウハウを活かし様々なものづくり企業をサポート

更に同社では、同じものづくり企業に対し、自社の魅力を最大限顧客に伝え、売上げ向上につなげて欲しいとの思いから、他メーカーのARコンテンツを制作するサービス「メーカーパーク」を展開。同じものづくり企業だからこそ分かる目線を取り入れ、シンプルな料金形態や、メーカーからアピールしたいポイントを押さえたコンテンツ制作を強みに、幅広いメーカーの製品のAR化をサポートしている。



ARで製品の設置イメージをシミュレーション

【企業概要】

企業名：長谷川工業株式会社
代表者：代表取締役社長 長谷川 泰正
所在地：大阪府大阪市西区江戸堀2丁目1-1 江戸堀センタービル14F

URL：<https://www.hasegawa-kogyo.co.jp/>
<https://makerpark.jp/>（メーカーパーク）



企業URL



メーカーパーク
URL

13. パナソニック ビジネスサービス株式会社

【VRコンテンツを手軽に制作・公開・閲覧できるサービスを提供】

パナソニック ビジネスサービス株式会社は、3DCG素材のダウンロードから、CGコンテンツの制作、閲覧までシームレスに体験できるシステム「VRer!」を開発し、特別な技術や知識がなくても簡単にVRコンテンツを制作できるサービスを提供している。社員教育や建物・商品のシミュレーションなどでVRを初期コストを抑えて試してみたいというユーザーニーズに対応している。

◆ かんたんVR制作システム「VRer! (バイアラー)」

》》 VRコンテンツの制作から公開、閲覧までシームレスに体験できるサービス

3DCGなどの素材を扱う「VRer! Square」、編集ツールの「VRer! Editor」、閲覧用アプリの「VRer! Viewer」の3つのサービスを開発・提供している。3DCGの素材をダウンロードし、ペイントソフトのような感覚でCGを配置。また、インタラクティブな要素もプログラミングなしで設定できる。作成したコンテンツはボタン1つでアップロードでき、簡単にスマートフォンでコンテンツの閲覧ができる。

》》 会費制サービスで、初期コストを抑えてVRを導入することが可能

VRer!は会費制で、法人は月額3万円でサービスを利用することができる。一方で、個人は無料で利用できる。また、素材は有料・無料のものがあり、ユーザーが用意するデータを使用することもできる。PCとスマートフォンがあれば利用できるため、初期コストを抑えて、簡単にVRコンテンツを作成・閲覧することが可能。

VRを社内で試してみたいと考える企業にとってのエントリーモデル的な位置づけで利用することができる。

》》 研修・教育分野への活用が進められている

危険体験などの社員教育や、教育現場での校外学習など、VRを手軽に試してみたい企業や学校に利用されている。また、エンターテインメント分野でも活用できるのか検討するために、試してみようと考えているユーザーも多い。



多数の3DCG素材を提供
クリック操作のみで簡単にVRコンテンツ制作が可能



VRを活用した工場内の危険予測研修

【企業概要】

企業名：パナソニック ビジネスサービス株式会社
代表者：代表取締役社長 佐野 克也
所在地：大阪府大阪市中央区北浜東4-33 北浜NEXU BUILD

URL： <https://www.vrer.jp>
問合せ先：CX推進部 星出 千里
E-mail： vrer-info@ml.pasona-pbs.co.jp

14.HappyLifeCreators株式会社

ビルやプラントの「現場作業」の効率化と働き方をAR活用により支援

HappyLifeCreators株式会社では、アプリやwebシステム開発、XR技術を用いたソフトウェア開発を行なっている。受託開発で培った多種多様な業界の知見と技術をもとに、独自にITサービスの企画、開発、提供を行っており、ARを活用したビルやプラントの設備管理現場での作業効率化と働き方改革を支援している。

また、上流～下流工程まで一気通貫でのコンテンツ制作によりクライアントの課題に対して柔軟でスピード感のあるアイデアの提案や開発が可能である。

◆ AR技術を用いたウェアラブル型作業支援サービス「TASKel」

》 作業現場の業務効率化することで、人手不足の解消や作業員の育成をサポート

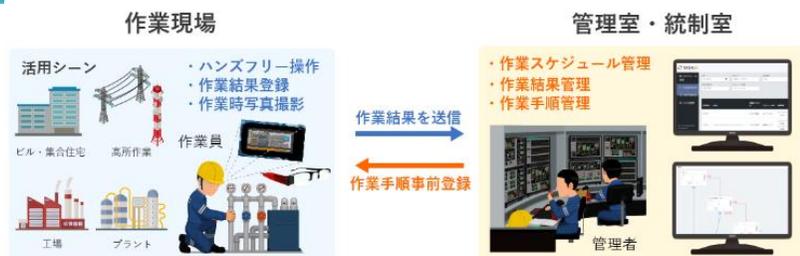
ビルやプラントなど現場作業を伴う業界では、熟練者不足や、紙と目視によるアナログ作業で長時間労働の慢性化といった課題を抱えている。

同社の作業支援システム「TASKel」は、AR技術を活用し、現場作業のOJTや作業報告書の作成、管理者の承認までのワークフローを効率化するサービス。現場作業者のスマートグラス画面に表示される手順に沿って作業結果の音声入力を行うと報告書フォーマットに反映され、リアルタイムで管理者とのデータの共有ができる。作業内容は管理者が事前登録を行い作業員は指示通りに進めるだけなので、熟練度に関わらず誰でも正確な作業ができ、音声入力のため手がふさがっておらず足場の悪い現場でも安全に点検ができる。

また、点検などの項目には閾値を登録しておくことで異常値が出た場合に作業員に通知され、スムーズな確認作業が行うことができる。このように、現場の業務効率化だけでなく、異常発生時への初期対応等、管理業務の支援にもつながっており、導入先の企業からは「異常が起きた場合の確認作業時間が8割程度削減できた」と好評を得ている。

》 現場のIT化を進める第一歩に

通常の作業支援サービスは、デバイスやコンテンツ制作に費用がかかったり、屋外で使えなかったりする場合があるが、「TASKel」では、作業前にデータをダウンロードしておくことで屋外などオフラインの状況下でも使うことができ、また音声と説明画像に機能を絞ることでコストダウンを実現している。



TASKelの概要



異常値がでた時のスマートグラスの画面イメージ

【企業概要】

企業名：HappyLifeCreators株式会社

代表者：代表取締役 牧長 心

所在地：大阪市淀川区西中島3-18-9 新大阪日大ビル701

URL：<https://www.happylifecreators.com/>

問合せ先ページ：<https://www.happylifecreators.com/contact>

製品紹介ページ：<https://www.happylifecreators.com/product/taskel>

15.株式会社ファイン

【注文住宅の営業にVRを活用し、顧客への提案力や競争力向上を実現】

株式会社ファインは、住宅メーカーのCADデータからパースやVRを自動的に制作できるシステムを提供している。さらに、建築プレゼンやパース制作に欠かせない家具や小物等の住宅設備・建材パーツなど12万点を超える3Dデータを「DATA STATION」という自社サービスで配信している。VRを活用した住宅向けのプレゼンテーションツールの提供により、ハウスメーカーの顧客への提案力向上に貢献している。

◆ 住宅向けのVRプレゼンテーションツール「ハウジングVR」

▶▶▶ CADデータからわずか1分程度でVRプレゼンテーションを制作可能

各メーカーのCADデータを入力することで、わずか1分程度でVRを展開でき、さらにウォークスルーを見せられるなど、住宅の効果的なプレゼンテーションに活用できる。着工前に住宅の内外観やサイズ感・色などを、完成した住宅の中に居るかのよう確認できる。

▶▶▶ 家具や小物など必要な3D素材を「DATA STATION」サービスとして配信

建築プレゼンやパース制作に欠かせない、家具や小物等の住宅設備・建材パーツや景観素材など12万点を超える3Dデータを自社サービスとして配信。ユーザーは簡単にダウンロードすることができ、CADソフトで利用することができる。

▶▶▶ 住宅プレゼンにとどまらず、建築パーツの商品開発にも活用

ハウスメーカーからバルコニーなどの建築パーツの形状を決めたいということで、外壁のタイプやサイズ・素材などのモデルをVRで見せて、住宅展示場への来場者にどのようなバルコニーが良いかアンケートを実施するなど、市場調査・商品開発にVRが活用されている。

▶▶▶ 商談時間の短縮を実現し、営業担当の働き方改革に貢献

注文住宅の完成イメージのプレゼンテーションにおいて、従来ではパースや模型を活用していたが、顧客が空間イメージを掴むのに時間を要していた。しかし、VRの活用によって顧客が空間をイメージしやすくなり、商談時間が大幅に短縮された。このようにVRはハウスメーカーの営業担当者の業務効率向上にも貢献している。



CADデータから簡単にVRに展開



窓の有無や位置を即座に変更して確認可能



DATA STATIONから3D素材をダウンロード

【企業概要】

企業名：株式会社ファイン

代表者：代表取締役 古川 武志

所在地：大阪府大阪市西区靱本町1-4-2 プライム本町ビルディング3F

URL：https://www.fine-d.co.jp/

TEL：06-6448-0013

問合せ先：営業グループ 高田（TELは同上）

16.有限会社藤川樹脂

【3DCGによる試作シミュレーションにより、製造業の営業力強化に貢献】

プラスチック成型加工で長年の実績を有する有限会社藤川樹脂は、VR等の新たなコンテンツを活用した試作サービスを開始し、商談や展示会等でのプロモーションで利用できる3DCGの試作シミュレーションサービスを行っている。平面図面では伝えきれない特徴について、実際に使用している様子をバーチャルに見せることで、実際の使用感をユーザーにイメージしてもらうことが可能となる。

◆ 機械装置の3DCGによる試作シミュレーション

》 言葉では伝えづらい試作品の特徴を3D動画を見ながら説明できる

営業担当者が機械装置の説明をする際に、機械の動作・原理や、仕様について、VRによりパーツを分解して機械内部の動作を見ながら伝えることができる。言葉や図面で伝えづらい特徴をシミュレーション画面を見ながら、顧客に分かりやすく説明できる。

》 CGで制作するため、見せたくない秘匿部分は隠して見せることも可能

展示会で機械を展示すると、他社に見せたくない構造まで見えてしまう可能性があり、模倣リスクが発生する。3DCGで制作した物をバーチャルに見てもらうことで、見せたくない部分を見えなくすることができるので、写真などで現物をコピーされるリスクを減らすことが可能になる。

》 CGでオプション表示なども簡単にでき、営業力向上に貢献

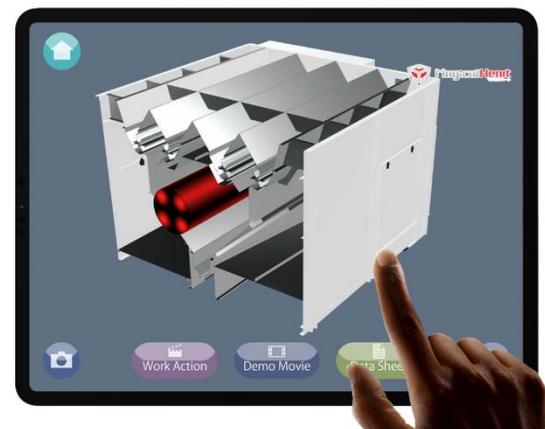
製品のオプション機能の営業時に、オプションを表示した状態と表示しない状態での機械装置の動作を比較確認することができ、さらに、形状や色を選択、変更できるので、営業担当者の訴求力の向上が可能となる。

》 営業資料（図面等）の手戻りが減り、資料作成の時間とコスト削減に寄与

紙媒体での営業資料では顧客からの要望に応じて作り直して何度も訪問する必要があったが、3DCGを活用すると顧客の要望に応じて瞬時に試作品の形状や色の表示を変更することができるようになった。そのため営業資料を作り直す時間の短縮とコスト削減が可能になった。



工作機械のVRによるシミュレーション



タブレットを活用し効果的な営業プレゼンが可能に

【企業概要】

企業名：有限会社藤川樹脂
代表者：代表取締役 藤川 勝也
所在地：大阪府堺市美原区多治井814

URL：http://fujikawa-jushi.co.jp/
TEL：072-350-0559（マジカルハート事業部）
問合せ先：マジカルハート担当 藤川 勝也（TELは同上）

17.株式会社floorvr

【工場見学や観光にVRを活用し、まるでその場にいるかのような臨場感のある体験が可能に】

株式会社floorvrは、360° 実写のVR動画を活用し、コンテンツ制作からクラウドサービスまで多様な事業を展開している。中でもコロナ禍における製造業の課題を解決するためにオンラインVR工場視察サービスNEWJI VRを2020年10月にリリースした。

◆ 360° ライブ映像を活用したオンライン工場視察サービス (NEWJI VR)

▶▶▶ 海外渡航や遠方への移動することなく現場のありのままを把握する

オンラインで遠隔地の状況を把握するためのサービス・手法は様々提案されているが、VR・360° のライブ映像を活用するものは少ない。中でも製造業に特化したサービスとしてNEWJI VRは独自性がある。VR・360° 映像のメリットは視野の自由度である。視聴者側で見たい方向を見れるため、現地側のカメラワークに依存しない状況把握が可能になる。

▶▶▶ 製造業向け工場視察・監査に最適化した機能が充実

360° 映像では捉えきれない細かな部分を映し出す接写モードが用意されており、表面仕上げや傷汚れ、小さな文字などもクリアに確認することが可能。また海外工場や遠隔地にいるスタッフ同士でリアルタイムにコミュニケーションを取りながら視察が可能となる。外部企業パートナーを参加させることも可能である。



◆ 豊富な360° 動画制作実績と複数VR端末操作システム

▶▶▶ 高品質な360° 映像制作、複数VR端末を一括制御可能

日本の景勝地を撮影する自社プロジェクト「SHINRYOKU」を展開し、三重県熊野市など自治体の観光VRコンテンツ制作等を通じ、創業以来360° 映像の豊富な制作ノウハウを蓄積している。また、これらの360° 映像コンテンツをビジネス現場で活用するために欠かせない複数VR端末の一括制御システムを自社開発するなど、クライアントの要望にトータルで応えることが可能なことも同社の強みである。



【企業概要】

企業名：株式会社floorvr

代表者：代表取締役 宮崎 雅史

所在地：大阪府大阪市北区角田町1番12号 阪急ファイブアネックスビル2F GVH#5内

企業URL：<https://floorvr.jp/>

NEWJI VR：<https://www.newjivr.com>

E-mail：info@floorvr.jp



18.ホログラム株式会社

【ダンボールで作ったMRグラスとコンテンツを開発し、安価で気軽にMRを体験する機会を提供】

ホログラム株式会社は、ダンボールで作った低価格なMRグラス「だんグラ」を開発するとともに、教育コンテンツやエンタメアプリなどを制作し、誰でも気軽にMRコンテンツを楽しめる環境を安価に提供している。また、開発者向けのSDK（ソフトウェア開発キット）をオープンにするなど、様々な開発企業とともにMR市場を開拓していくことを志向している。

◆ ダンボールで作ったMRグラス「だんグラ」

》》 手軽にMRを楽しめるダンボールで作ったMRグラス

だんグラは、安価で軽量なダンボール素材に独自開発のレンズとミラーを組み合わせた筐体で、臨場感あふれるMRコンテンツが手軽に体験できる“ダンボール型MRグラス”。スマートフォンを装着し、両サイドに搭載されたスイッチを操作することで簡単にコンテンツを視聴できる。また、通常の二眼グラスに加えて、レンズを取り外すことで一眼グラスとしても使うことができる。

》》 ハードウェアとソフトウェアの両方を開発・サポート可能

自社でだんグラで視聴できるコンテンツやアプリを開発しており、ハードとソフトを両方開発できることが同社の最大の強み。最近では、アニメーション作成フリーソフトとコラボして、簡単にアニメーションを制作できるMRアプリを開発している。



手軽にMRコンテンツを楽しめる「だんグラ」



アニメーション制作のコラボアプリ

◆ Hologla-SDK

》》 SDKをオープン化し、他社とともに市場開拓を志向

Unity用の一眼／二眼対応のVR/AR/MRコンテンツを同時開発できるSDKを無償公開することで、他の開発企業も安価にMRコンテンツを開発できる。SDKのオープン化を行うことで、様々な企業とともにMR市場の開拓・拡大を目指している。



新製品の研究・開発

【企業概要】

企業名：ホログラム株式会社

代表者：取締役社長 山地 直彰

所在地：大阪府大阪市中央区南本町2-1-1 サザンビル1F

URL：https://ho-lo.jp/

問合せ先：長者原 亨 (E-mail：toruc@ho-lo.jp)

19.メガソフト株式会社

【設計・デザインした3D空間がそのままVRコンテンツに。空間提案・検証用VRソリューション】

メガソフト株式会社は、使いやすさで定評のある空間デザインソフト「3Dアーキテイナー」をベースにしたVRソリューションを開発・提供している。5万点以上の3D素材とマウス中心の簡単操作で作成した3D空間が、そのままVRコンテンツとなり、VRプレゼン中に編集も可能。施主へのプレゼンはもちろん、設計者自身の空間検証にも利用されている。

◆メガソフトVRソリューション

》》》 素材を配置して3D空間を作成するだけでVRコンテンツが完成

敷地入力→躯体作成→建具配置し、1クリックで立体化、実在メーカー製品を含む5万点以上の素材（家具、設備機器、壁紙、床材など）をマウスで配置するだけで3D空間を作成可能。作成した3D空間がそのままVRコンテンツでもあり、HMDを装着すると、そこは操作画面で見ていた3Dパースの世界。今作った空間をVRで体験できる。

》》》 作成した3D空間をVRで体験

HMDを装着して、見まわす、歩くなど自身の動作によるVR体験に加え、オペレーター操作で視点の移動や、自動ウォークスルー機能での動線チェックも可能。また、VRプレゼン中も床材・壁紙・家具などの変更や空間の編集ができるので、施主の要望や打ち合わせ内容をその場でVR空間に反映し、検証ができる。

》》》 ハードとソフト、サポートサービスまでを1パッケージ

VRプレゼンを行うために必要なHMD、高性能ノートパソコン、ソフトウェア一式、運用時のノウハウを含む活用法のレクチャー、サポートサービスを1パッケージ化し、導入した日から使用できる環境を提供している。また、コンパクトな機器構成で設置も数分で完了するため、持ち出して客先のリビングや会議室でのVRプレゼンも可能。

》》》 ユーザーの声：打ち合せ・商談時間の削減や売上アップに貢献

VRプレゼンにより
（ハウスメーカー）打ち合わせの回数・受注までの商談時間を削減でき、やり直しによる費用も削減できた
（家具メーカー）“狭くならないか”“圧迫感はどうか”といった不安要素が解消し、まとめ買いが増え、VR導入により売り上げが前年の300%を実現した
など、空間設計・デザインの実業務で評価されている。



設計・デザインした3D空間がそのままVRコンテンツに



実在メーカー製品を含む5万点以上の3D素材を提供



同社のオフィス・医療施設・工事現場など各種空間作成用ソフトで作成した3Dデータをインポートして、VRプレゼンが可能

【企業概要】

企業名：メガソフト株式会社
代表者：代表取締役社長 井町 良明
所在地：大阪府大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル11階

URL： <https://www.megasoft.co.jp/vrsolution/>
TEL：06-6147-2780
問合せ先：インフォメーションセンター（TELは同上）

20.株式会社メタバーズ

【仮想空間専門企業が提供するソーシャルVRサービス】

株式会社メタバーズは、2006年に創業し、仮想空間を構築、又は既存のプラットフォーム内に空間を設け、企業のプロモーション会場として提供する他、アーティストのPVの撮影協力等、仮想空間を活用したいという顧客の依頼に幅広く対応するサービスを提供している。2020年、仮想空間内でのコミュニケーションに特化したソーシャルVRサービス「CYZY SPACE」をリリースした。

◆ 誰でも簡単、安価に利用可能なソーシャルVRサービス「CYZY SPACE」

》》 仮想空間専門企業の経験を活かしたサービス

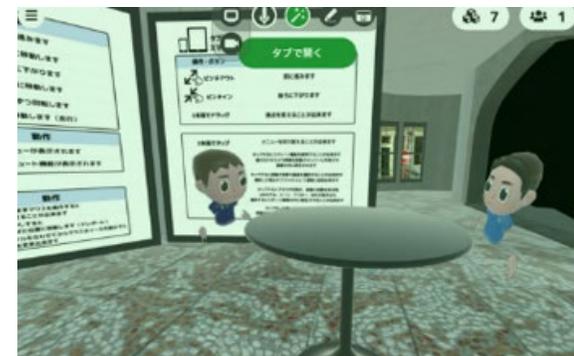
創業以来、仮想空間に関連したサービスを提供してきたノウハウを基に、新型コロナウイルスの影響で延期や中止を余儀なくされた展示会や新製品発表会などのイベントの開催をサポートしたいという思いから、2020年に仮想空間内でコミュニケーションに特化したソーシャルVRサービス「CYZY SPACE」をリリースした。本サービスでは、参加者同士が、VR空間内でアバターを通して会話や交流することができる。

》》 誰でも手軽かつ安価にバーチャルイベントが開催可能

カスタマイズ不要の独自のVR空間を複数用意し、WEBブラウザ上で直感的に簡単な操作のみで利用開始できる手軽さが最大の強みである。一方で、オープンソースを活用しているため、安価な料金で利用することができる。同社が培ってきたノウハウをサービス運用に活かすことで、VRヘッドセットやPC、スマートフォンから、1ルームあたり最大25～100人、複数のルームを活用すれば最大数千人規模の同時接続が可能となり、簡単にイベント、展示会、学会、店舗運営等を実施できる。

》》 多彩なコミュニケーションが可能

参加者同士は音声やビデオ通話、画面共有、チャット等、多彩な方法でコミュニケーションを取ることができる。近くにいるアバター同士の声が大きく聞こえる機能で臨場感を高め、展示会やイベントはもとより、教育現場など双方向のコミュニケーションを重視する場面で導入されている。また、同社が以前から開発・運用を行っていたAIチャットボットをVR空間内で利用できるのも特徴の一つである。AIチャットボットを利用すれば、スタッフのいない夜間、休日にも簡単な案内を行うことができ、管理運営にかかる人件費の削減にもつなげられる。



WEBブラウザから簡単に利用できる独自のVR空間で様々なコミュニケーションが可能

【企業概要】

企業名：株式会社メタバーズ
代表者：代表取締役社長兼CEO 島谷 直芳
所在地：京都府京都市中京区丸屋町159番地1

URL：<https://www.metabirds.com/>
<https://cyzyspace.io/> (CYZY SPACE)



企業URL



CYZY SPACE
URL

21.株式会社メディアクト

【会社案内動画に手軽なVRを活用し、企業の新卒採用や就職後のミスマッチ防止に貢献】

株式会社メディアクトは、就活フェアなどの新卒採用イベントで会社の雰囲気を、まるで実際に社内に見学しているかのように体験できる会社案内VRコンテンツを制作・提供している。気軽にVRを活用してもらえよう、高価な機材を使用せず担当者の高い撮影・編集力を活かして、できるだけ制作費用を抑えて数万円から数十万円の価格帯でVRコンテンツを提供している。

◆ 新卒採用に使えるVR「バーチャル会社見学」

》 効果的な人材採用ツールとしてのVR制作

これまで同社が会社案内やホームページなどの人材採用ツールの制作を行ってきた経験を活かし、より効果的に就職活動をする学生向けに会社を伝えたいという企業のニーズを満たすコンテンツとして、VRに着目し、会社・工場見学のためのVRコンテンツを制作している。

》 現地に行かなくても会社見学を低価格で実現

会社案内動画は数分間で概要をつかむことを目的としており、同社では、高価な機材で高画質の映像を制作するのではなく、消費者向けの機材を使用して撮影している。そのため、数万円台から会社案内VR動画を制作することができ、ユーザーも導入しやすい価格帯である。

》 視聴には高価な設備を必要とせず、イベントでも簡単に活用できる

ハイスペックなデバイスを必要とせず、スマートフォンを簡易型のVRゴーグルに装着するだけで、YouTubeを利用するなどして簡単にVR動画を視聴できる。就職フェアなどのイベントにも、手軽に機材を持ち込んで、簡単に多くの学生に体験してもらうことが可能。

》 ユーザー企業にとって学生のエントリー数増加に効果的

同社のVRコンテンツを導入した企業では、学生のエントリー数が増えるなど、学生の関心を高める効果が出ている。また、面接前や入社後に、実際の会社の雰囲気とのミスマッチを減らすことにも役立っている。



実際に訪問しているかのようなリアリティの高い会社見学を実現



バーチャル会社見学のイメージ

【企業概要】

企業名：株式会社メディアクト

代表者：代表取締役 武藤 靖矩

所在地：大阪府大阪市西区京町堀1-8-33 京町堀スクエア3階

VR事業部URL：<http://kururu360.jp>

企業URL：<https://www.mediacr.co.jp>

TEL：06-6446-5871

問合せ先：VR事業部 プロデューサー 遠藤（TELは同上）

22.株式会社mediVR

VR等の映像技術を活用した医療機器「mediVRカグラ」で、“自分らしい”からだ暮らしを取り戻す

株式会社mediVRは、歩行障害、認知機能の改善を第一義に医療機器「mediVRカグラ」を開発・販売している。mediVRカグラは、仮想空間上の狙った位置に手を伸ばす動作を繰り返すことで、ゲーム感覚で楽しみながら、身体・認知機能を鍛えることができる。大学や病院、高齢者福祉施設に導入され、脳梗塞、高次機能障害、認知症、股関節疾患、慢性疼痛など、幅広い疾患のリハビリに使われている。その圧倒的な治療効果に基づき目標達成時のみ課金される成果報酬型リハビリセンターも開設。

◆ VR等の映像技術を活用した医療機器「mediVRカグラ」

▶▶▶ 有効性の高いリハビリが可能

従来、歩行障害にアプローチするには、①姿勢バランス制御、②二重課題型の認知機能を向上させる必要があったが、現場ではこれらの定量化ができておらず、最適な運動目標が示せずになっていたが、mediVRカグラではVR技術を用いることで、①・②の定量化が実現。これにより、従来のリハビリでは改善できなかった患者が、数分・数日で、患者一人でも車椅子に乗り降りできるようになるなどの大きな改善効果をあげている。

たとえば自分の目の前にゆっくり落ちてくるものがあると、人は思わず手を伸ばしてしまうもの。そうした行動科学の知見をもとに開発しているため、言葉による指示が必要なく、認知機能が落ちた患者でも言葉による指示が不要。

2018年にはジャパンヘルスケアビジネスコンテストで最優秀賞を受賞。J-Startupにも選出された。

▶▶▶ 自力で座ることすらままならなかった患者が卒業式で杖歩行を披露

11歳の脳性麻痺の男の子が、1人で座ることすらままならなかった状態であったが、1回40分、週5回、33日のリハビリで、杖歩行が可能になった事例も。男の子は卒業式で杖歩行を披露できるまでとなった。

事例は医学論文総説等で紹介され、特許取得の明細中に臨床データを多数報告するなど、医師である原社長は学術的な活動にも力を入れている。

▶▶▶ 業界初「成果報酬型リハ施設」を自社で開設

「お金と時間を費やしても変わらなかったら」という患者の不安に応えるため、リハビリ業界で初めて、達成した分だけ報酬を得る「成果報酬型」の料金体系を導入。

2022年現在、東京・大阪の2拠点「mediVRリハビリセンター」でサービスを提供している。



リハビリ中の様子



ゲーム感覚で楽しめるmediVR

【企業概要】

企業名：株式会社mediVR

代表者：代表取締役社長 原 正彦

所在地：大阪府豊中市寺内2丁目4番1号 緑地駅ビル3階

URL：<https://www.medivr.jp/>

問合せ先ページ：<https://www.medivr.jp/contact/>

23.monoAI technology株式会社

【VR空間内で多人数でのコミュニケーション】

monoAI technology株式会社は、VR空間内で3Dデータに触れながら、チャットなどのコミュニケーションがとれるソリューションを提供している。同社がゲーム開発で培ってきた低遅延の多人数通信ネットワークや、映像を軽量化する技術の強みを活かして、リアルタイムで多人数でのコミュニケーションをとれるコンテンツを簡単に制作することができる。

◆ モノビットエンジン (VR Voice Chat、Monobit Unity Networking 2.0)

▶▶▶ 多人数通信のネットワーク構築に強み

長年マルチプレイ対応のゲーム開発を行ってきた経験から、低遅延で多人数での通信を行うネットワーク構築に関して強みを有する。業種や活用シーンを問わず、様々な場面でVR・ARを活用したコミュニケーションが手軽に実現できる。

▶▶▶ 同じ空間にいるかのようなコミュニケーションが可能に

VR空間上にユーザーの分身となるアバターが表示され、身振り・手振りと連動表現することができる。また、会話の音声もリアルタイムに伝えることができるため、まるで同じ空間に居るかのようなコミュニケーションが可能。



VR空間内でのコミュニケーション

◆ ビジネス活用形バーチャル空間構築プラットフォーム「XR CLOUD」

▶▶▶ 10万人同時参加可能なバーチャル空間

2020年、国内初のカスタマイズ可能なバーチャル空間プラットフォーム「XR CLOUD」は、国内最大規模の同時接続を実現し、10万人同時参加のバーチャル空間イベント（パブリックビューイング、ショールーム、展示会等）を実施することができる。新型コロナウイルスの影響で多人数のイベントや会議をオンラインで開催する動きが増えているが、遅延や双方向の会話が難しいなどコミュニケーション面の課題がある。同サービスは、同社がゲーム開発で培ってきた低遅延の多人数通信ネットワークや、映像を軽量化する技術の強みを活かして、リアルタイムで多人数でのコミュニケーションをとれるコンテンツを簡単に制作することができる。



多人数参加型の様々なバーチャルイベントが実現可能

【企業概要】

企業名：monoAI technology株式会社

代表者：代表取締役社長 本城 嘉太郎

所在地：兵庫県神戸市中央区京町78 三宮京町ビル3階A号室

URL：https://monoai.co.jp/

